

2023(令和5)年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム自己点検・評価

2024(令和6)年4月30日
情報システム委員会

| 科目名 | 単位数 |
|------------------|-----|
| 数理・データサイエンス・AI基礎 | 2単位 |
| ネットワーク・リテラシーF | 2単位 |

評価基準【A・B・C】

評価A: 概ね成果が上げられている。

評価B: ある程度成果が上げられた。

評価C: 改善の必要がある。

自己点検・評価体制における意見等

| 自己点検・評価の視点 | 自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等 | |
|------------------------------|------------------------------|--|
| 学内からの視点 | 評価 | |
| プログラムの履修・修得状況 | A | <p>本教育プログラムの構成科目「数理・データサイエンス・AI基礎」「ネットワーク・リテラシー」は卒業必修科目であるため、入学した全学生が履修する。</p> <p>人間社会学部…履修者数164名、修了者数114名(令和5年度実績)</p> <p>卒業必修科目のため、修了率は向上していくと想定されるが、学内におけるプログラムのより広い周知を図っていく。</p> |
| 学修成果 | B | <p>各科目の履修者の成績評価(GPA等)をもとに学習成果を把握し、GPAを参考にした履修指導を行い、GPAは学習成果を図る指標として活用されている。本プログラムに関しても同様に学習成果を測定する。また、「学生による授業改善のためのアンケート」の結果をととして学生の理解度を把握していく。</p> |
| 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度 | B | <p>本教育プログラムに限らず、本学では「学生による授業改善のためのアンケート」を全科目実施している。本プログラムのアンケートの結果を分析することで、学生の理解度を把握し、問題がある場合には改善提案を策定していく。</p> |
| 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度 | A | <p>本プログラムを構成する授業科目は、卒業必修科目であるため、必ず履修登録を行うよう新入生ガイダンス等で周知している。</p> <p>また、本教育プログラムに限らず、本学では「学生による授業評価アンケート」を全科目実施している。結果を、学内公開し、学生の授業に対する理解度を把握することで、積極的な履修を促していく。</p> |
| 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況 | A | <p>本教育プログラムを構成する科目は、すべて卒業必修科目としているため、収容定員に対する履修率は向上していくものと思われる。</p> |

| 自己点検・評価の視点 | 自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等 | |
|---|------------------------------|--|
| 学外からの視点 | | |
| 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価 | - | <p>本学キャリア支援課が、卒業生に向けて定期的に卒業生調査を実施しているため、今後本プログラム修了者の進路、活躍状況等を把握し、修了者の進路、活躍状況等を把握することは可能である。</p> |
| 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見 | - | <p>今後、本学と協定を結んでいる地方自治体や企業等に、教育改善に関する助言等を定期的にいただき、プログラムのブラッシュアップをしていく予定である。 また、本学学生の就職先企業等にもアンケートにより意見を集める予定となっている。</p> |
| 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること | B | <p>「数理・データサイエンス・AI基礎」において、データサイエンスの実際の最先端活用事例を紹介することで学生の興味関心を高め、学ぶ楽しさや学ぶことの意義を理解させている。</p> |
| <p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p> | B | <p>FD委員会において、授業評価アンケートの結果等を踏まえ、学生が興味関心を持ちやすい身近な事例を交えて授業を展開するなど、学生の分かりやすさの観点から講義の内容の改善、充実を検討し、授業の水準の維持・向上を図っていく。</p> |